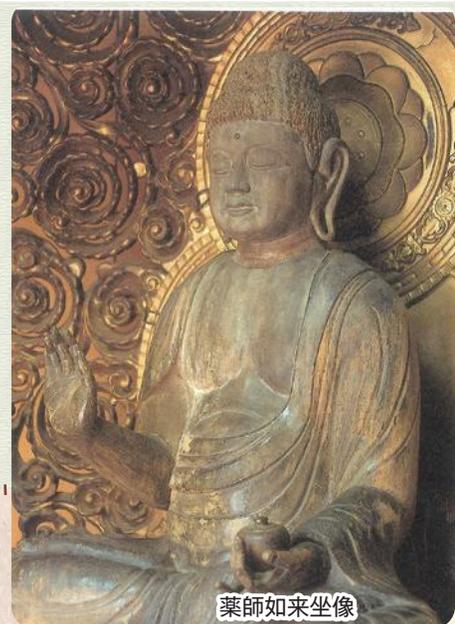


ふるさと吉富町

私たちが暮らす「吉富町」には、現在に至るまでの数々の歴史があります。そして、そこには現在の快適な生活のベースがあります。そんなふるさと吉富町について、いろいろな視点からご紹介していきます。



薬師如来坐像

第25回 鈴熊山公園

まちなかのヒーリングスポット

風薫る5月、吹き抜ける風や日差しが心地よい季節がやってきました。こんな時期にぜひ訪れていたいただきたいのが、鈴熊山公園です。



どんぐり公園のリス

ふもとのどんぐり広場には珍しい遊具がたくさん。かわいリス2匹がお出迎えしてくれます。また、山全体に園路が整備され、風にそよめく木々の音や野鳥のさえずりなどを聞きながら、ちょっとしたハイキングが楽しめます。山の南東部に設置された展望台からは八面山などの山々が一望でき、実に爽快。「福岡県森林浴100選」にも選ばれている、町を代表するヒーリングスポットです。

山頂に鎮座する薬師如来

鈴熊山は、山頂にお寺と神社が並んで建立されている珍しい場所です。お寺の名前は、「鈴熊寺」と書いて「れいゆうじ」と読み、国指定重要文化財となっている「薬師如来坐像」が本尊となっています。平安時代、僧・行基によって作られたと言われるこの薬師如来は、戦国時代に大友氏の兵火によって寺堂が焼けた際に行方不明となりましたが、江戸時代のはじめ、近くの別府の田で発見され掘り出されたという逸話があります。毎月8日にご開帳され、穏やかな表情をたたえた姿で参拝者の心を癒しています。



れいゆうじ 鈴熊寺

また、鈴熊寺の山号は「金華山」というきらびやかな名前が付けられています。昔からこの地が金鉞をもっていたという伝承に由来するといわれており、江戸時代には、中津藩が試掘を行ったという記録も残されています。

歴史探訪の地・鈴熊山

鈴熊寺にはこのほかにも、色彩豊かな「涅槃絵図」や、室町時代から江戸時代初期の作とされる「木造十一面観音菩薩坐像」など、歴史的価値の高い文化財が多数納められています。また境内には、昭和初期に作られた「新四国八十八ヶ所」の石仏や、作者が他寺に移ったため未完成のまま今に残っている「涅槃石」など、歴史を感じる史跡が点在しています。



新四国八十八ヶ所の石仏

ふもとの公園、数々の文化財、そして豊かな自然。鈴熊山は、世代を超えて楽しめる多様な魅力が凝縮された癒しのスポットです。新緑とそよ風を感じながら、森林浴でリフレッシュしてみませんか？



昭和30年頃の鈴熊山